

株主通信「イードプレス」

iid
Press

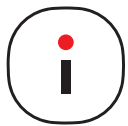


We are the
User Experience Company.

第22期

2021年6月期 (2020.7.1~2021.6.30)

通期報告書



株主の皆さまへ

TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年6月期は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、広告需要が回復基調となったことや、「巣ごもり消費」によりEC利用拡大の定着化もあり、連結売上高は54億7百万円と過去最高を更新し、営業利益は4億5千4百万円で前期比大幅増となりました。

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）におきましては、更なるEC関連事業の強化を図るため、NHN JAPAN株式会社より、複数ECショップの一元管理サービス「TEMPOSTAR」を提供するSAVAWAY株式会社の全株式を取得し、子会社化いたしました。今後はSAVAWAYと当社グループ既存のEC関連アセットの連携により、ECのトータルマーケティング支援サービスを目指してまいります。また、株式会社富士山マガジンサービスとの合併会社である株式会社アイデアにおいても、出版社との協業によるグルメ通販サイトを継続的にオープンするなど、活況なEC領域において、新しい取り組みを積極的に展開しております。

また、メディア事業における360度のビジネスモデル拡充においては、ビジネス向けの会員制メディア「mirai.Response」をオープンし、ニュース、イベントレポート、セミナーなどのコンテンツを月額料金で提供開始するなど、既存の「ScanNetSecurity」「Media Innovation」とあわせ、サブスクリプションサービスの収益拡大にも力を入れております。

私たちイードグループは、コロナ禍における環境の変化にも柔軟に対応し、事業面および従業員の働く環境においても常に先を見据えた施策を検討、実行することで、このような社会情勢の中においても確実に結果を残していけるよう、今後も精進してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役

宮川 洋

Contents

株主・投資家の皆さまへ	1
イードの事業概況	2
2021年通期 業績ハイライト	3

特集	5
会社概要・株主の概況	9

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



2021年6月期通期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は過去最高を更新
- ・連結の営業利益は前期比144.1%と大幅伸長

連 結

	FY6/21	FY6/20	前期比
売上高	5,407	5,266	102.7%
営業利益	454	315	144.1%
営業利益率	8.4%	6.0%	+2.4pt

CMP

	FY6/21	FY6/20	前期比
売上高	4,676	4,433	105.5%
営業利益	379	265	143.1%
営業利益率	8.3%	6.3%	+2.0pt

CMS

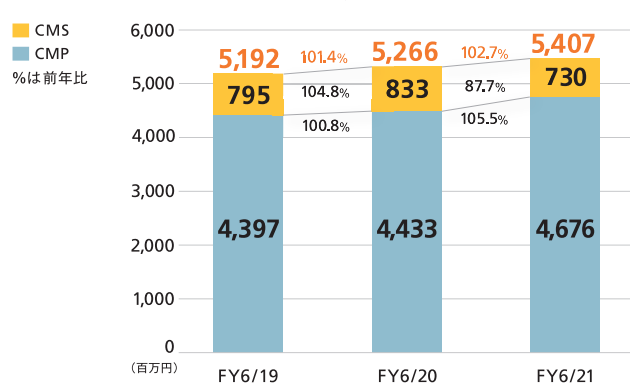
	FY6/21	FY6/20	前期比
売上高	730	833	87.7%
営業利益	74	49	149.5%
営業利益率	10.2%	6.0%	+4.2pt

(百万円)

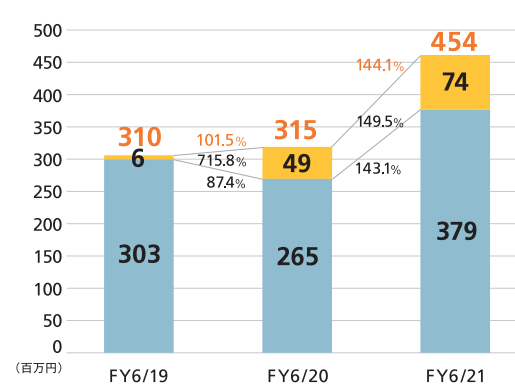
2021年6月期通期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業の売上高は堅調、営業利益は前期比143.1%と大きく増加
- ・CMS事業は前期大型案件があったため売上高は減少するも、利益率は改善し営業利益は過去最高

ー 売上高推移 ー



ー 営業利益推移 ー



2021年6月期通期 連結損益計算書

- ・2021年5月14日公表の業績予想に対し、営業利益は113.5%、経常利益は113.2%といずれも予想を上回る結果となりました。

売上高は5,407百万円となり、5月14日公表の業績予想に対して102.0%の達成率となりました。また営業利益は454百万円で達成率113.5%、経常利益も464百万円で達成率113.2%といずれも予想を10pt以上上回る結果となりました。

売上高、営業利益ともに従来どおりCMP事業が連結全体を牽引しました。当期は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、下期は広告需要も回復基調となったことを受けて、当第4四半期連結会計期間においては広告需要は比較的安定的に推移しました。

また「菓ごもり消費」によるEC利用拡大は定着化しつつあり、同様に出版ビジネス(アニメ雑誌、パズル雑誌)も引き続き好調を維持しています。

	FY6/21 期末	5/14 公表の 業績予想	達成率	FY6/20 期末	前期比
売上高	5,407	5,300	102.0%	5,266	102.7%
営業利益	454	400	113.5%	315	144.1%
経常利益	464	410	113.2%	277	167.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	464	460	100.9%	104	446.5%

(百万円)

2021年6月期通期 連結貸借対照表

- ・当期純利益(※)の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加し、純資産は増加

当連結会計年度末における流動資産は3,918百万円(前連結会計年度末比856百万円増加)となりました。これは主に、現金および預金が914百万円増加したこと等によるものです。固定資産は805百万円(前連結会計年度末比111百万円の減少)となりました。これは主にのれんが197百万円減少した一方で、繰延税金資産が123百万円増加したこと等によるものです。以上の結果、総資産は4,724百万円(前連結会計年度末比746百万円増加)となりました。

当連結会計年度末における負債総額は1,275百万円(前連結会計年度末比266百万円増加)となりました。これは主に、流動負債に含まれる未払法人税等が92百万円増加、固定負債に含まれる長期借入金が196百万円増加したこと等によるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は3,448百万円(前連結会計年度末比479百万円増加)となりました。これは主に、利益剰余金が465百万円増加したこと等によるものです。

	FY6/21 期末	FY6/20 期末	前期比 増減額
流動資産	3,918	3,062	+856
現金及び預金	2,928	2,014	+914
固定資産	805	916	▲111
投資有価証券	314	301	+13
のれん	67	264	▲197
資産合計	4,724	3,978	+746
流動負債	922	859	+63
固定負債	353	150	+203
負債合計	1,275	1,009	+266
株主資本	3,385	2,895	+490
利益剰余金	1,639	1,174	+465
自己株式	▲29	▲35	+6
純資産	3,448	2,969	+479
負債・純資産	4,724	3,978	+746

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

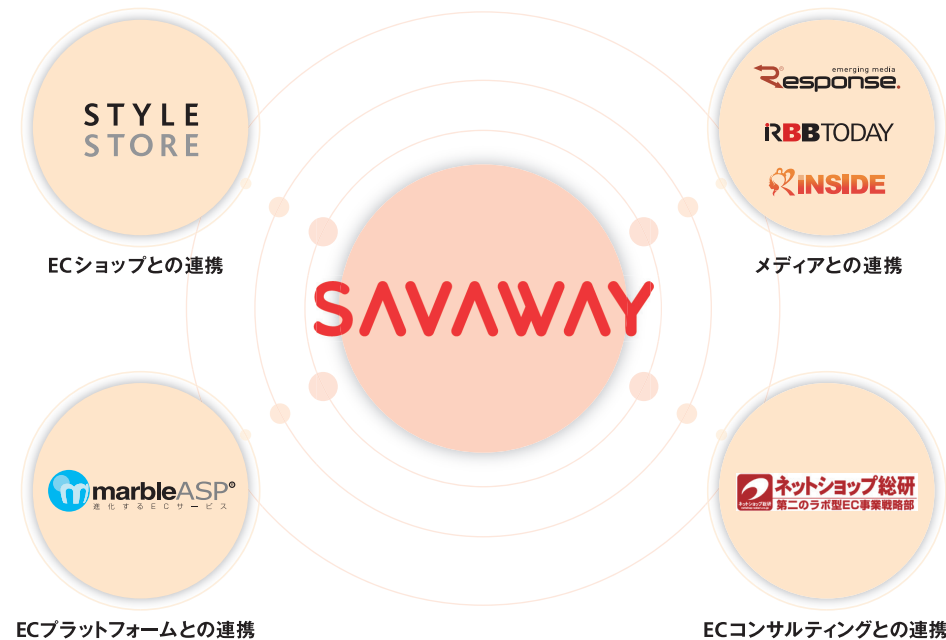
(百万円)

SAVAWAYの全株式を取得、EC関連事業を強化

複数ECショップの一元管理サービス「TEMPOSTAR」を提供するNHN SAVAWAY株式会社の全株式を取得し子会社化、ECのトータルマーケティング支援サービスを目指します。

イードグループ既存のEC関連アセットにSAVAWAYのECサポート事業、「TEMPOSTAR」事業が加わることで、今後はECシステム、複数ECショップ管理、ECコンサルティング、ECサイト運営など、EC領域をより幅広くカバー

今回のSAVAWAYの株式取得により、ECの事業領域を広げ、コロナ禍での巣ごもり需要を追い風に活況なEC関連事業を強化するとともに、今後は当社グループの強みであるメディア・コンテンツとECを組み合わせ、当社グループならではのEC事業「メディアコマース事業」として、事業創出と拡大を目指します。



雑誌コンテンツのデジタル展開 「エンタメプリント」のサービスを開始



「エンタメプリント」は、全国3万店舗以上(※)のコンビニエンスストアでエンタメコンテンツをオンデマンドで印刷が可能

「エンタメプリント」は、全国のコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機から、アニメ、ゲーム、声優などのプロマイドをはじめとした様々なジャンルのコンテンツを購入・プリントできるサービスです。今年40周年を迎えた雑誌「アニメディア」をはじめ、イードが展開するアニメ、ゲーム、映画などに関連するコンテンツを続々展開していく予定です。

(※) エンタメプリントは全国のローソン、ファミリーマートの店舗で展開しています。

第一弾は
映画「マクロス」の
入場券付き
プロマイド



「エンタメプリント」の第一弾は、人気のSFアニメーション「マクロス」シリーズの今秋公開予定の最新作『劇場版マクロスΔ 絶対LIVE!!!!!!』(同時上映『劇場短編マクロスF～時の迷宮～』)の前売券付きプロマイドです。プロマイド部分は10種類のイラストの中から1枚がランダムで排出され、“何が出てくるかわからないワクワク感”を味わっていただけです。

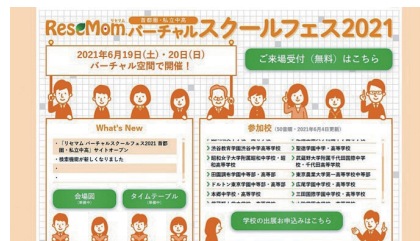
Withコロナ時代の新たなマーケティング企画

新型コロナウイルスの影響により、オンラインでのセミナー/イベントが定着。
今期も積極開催するとともに、バーチャル留学など、内容も進化しています。

リセママ
ReseMom

バーチャルスクールフェス2021 首都圏私立中高編

コロナ禍の受験校選びに悩む受験生とその保護者を対象にしたオンライン合同学校説明会。19校が参加し、多くの保護者と学生が学校紹介セミナーやブースでの説明に参加しました。



リセママバーチャルサマーキャンプ2021 supported by スクールウイズ

株式会社スクールウイズとの協業で、コロナ禍でも留学を諦めない中学生・高校生を対象とした5日間のオンラインでの留学プログラムを実施。自宅とフィリピンを繋いで英語学習や現地を体験するものです。



CinemaCafe.net

Let's Keep Updated vol.2 「『犬部!』殺処分 & 多頭飼育崩壊ゼロを目指すには？」

シネマカフェで、映画をきっかけに地球や自分たちの事を改めて考えてみよう、をテーマに「Let's Keep Updated」という新企画がスタート。
第二弾は『犬部!』を題材に動物の殺処分について取り上げました。

グループ会社の取り組みについて

専門性を活かした事業領域で、継続的に新しいビジネスを展開

EhonNavi
Picture Books for Happiness

絵本ナビが英語の絵本を楽しみながら 音声AIで発音練習できる英語学習アプリ 『絵本ナビえいご』を提供開始

絵本ナビは、昨年11月に世界最大級の金融コングロマリットの1つであるSIGからの資本参加を受け、SIGの持つグローバルなビジネスネットワークを活用した事業展開の第一弾として、欧米大手出版社刊行の質の高い英語の絵本を楽しみながら、ゲーム感覚で音声AIで発音練習できる英語学習アプリ『絵本ナビえいご』をリリースしました。



ef en Factory

エンファクトリーの越境型研修サービス 「複業留学」が活況

越境的活動の促進をサポートする「複業留学」の導入企業が着実に増えています。昨年7月のサービス開始以降、従業員の人材育成や成長機会の提供、自立支援などを目的として、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、バルコ、みずほビジネスパートナー、花王グループカスタマーマーケティングほか、複数企業で導入が広がっています。





会社概要

会社名	株式会社イード（IID, Inc.）
設立	2000年4月28日
所在地	〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー17階
資本金	876,628千円
事業内容	メディア事業／リサーチ事業／メディアコマース事業
従業員数	単体148名／連結200名
子会社	Interface in Design, Inc. 株式会社エンファクトリー 株式会社ネットショップ総研 マイケル株式会社 ※2021年7月1日付で、SAVAWAY株式会社を連結子会社化いたしました。 株式会社絵本ナビ SODA株式会社

役員

代表取締役	宮川 洋
取締役	須田 亨
取締役○	大和田 廣樹（株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長）
取締役○	吉崎 浩一郎（株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監査役	山中 純雄
監査役○	安達 美雄
監査役○	藤山 剛（株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

○＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数

8,000,000株

発行済株式の総数

5,012,200株

株主数

2,221名

■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.19%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.39%
3	株式会社マイナビ	400,000	8.03%
4	株式会社ティーガイア	250,000	5.02%
4	株式会社ボブラ社	250,000	5.02%
6	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	4.82%
7	株式会社SBI証券	212,800	4.27%
8	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.01%
9	宮川 洋	131,700	2.64%
10	中坊 勇太	114,800	2.30%

(注1) 2021年6月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

(注2) 当社は、2021年6月30日時点で自己株式33,493株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場	東京証券取引所マザーズ
証券コード	6038
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年6月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

株主通信「イードプレス」

iid
Press



We are the
User Experience Company.

第22期 通期報告書

2021年6月期（2020.7.1～2021.6.30）

株式会社イード
（証券コード 6038）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>